

「オシャレぞうきん」細分化工程表（仕上げ） ☆JUKI(HZL-310) 3/3

ミシンを使い直線縫いができる方であれば実施可能。ミシンのスタートボタンを赤色など分かりやすい色にする。速度調整が変わらないようテープなどで固定する。
 スタートボタンの押し間違い、返し縫ボタンの押し間違いなどがあるため、慣れるまではミシン操作は職員が実施したほうが良いです。

① 「オシャレぞうきん」をイメージでき作業工程手順が理解できる。

	<p>(図形の把握・実行機能)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.できない 2.支援があればできる 3.できる <p>☆刺繍やパッチワークを縫いつけ終わった後の行程です。</p>
 <p>●ボビンのセット</p> <p>△注意 ボビンを内がまにセットするときは、必ず電源スイッチを切ってください。ほかの原因になります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 糸の端がボビンのうしろ側から矢印方向に出るように入れてください。ボビンを内がまに入れます。 ① 糸の端 ※ ボビンから引き出される糸の状態の図が角板に表示されています。 2 糸の端を引ながら、手前のみを(A)にかけます。 ① 手前のみを(A) 3 糸を引ながら左へ移動させ、左側のみを(B)のふちに出します。 ① 左側のみを(B) 4 糸を左側のみを(B)にかけるように向こう側に出します。 ※ 糸を引き出したとき、ボビンは反対針方向に回転します。 時計方向に回転した場合、ボビンの向きを上逆に入れかえます。 5 下糸は10cmくらい引き出して、角板を左側から合わせて取り付けます。 ① 角板 	<p>【ミシンのセッティングをする】 ※ご家庭のミシンの取扱説明書を参照。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 下糸をセットする。 (説明書 P.12) (実行能力・記憶力・手指の巧緻機能) <ol style="list-style-type: none"> 1.できない 2.支援があればできる 3.できる
 <p>●上糸かけ</p> <p>【準備】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 押え上げをおおげます。 2. 電源スイッチを入れ、針上下移動ボタンを押して針と天びんをおおげます。 3. 針上下移動ボタン。 <p>△注意 上糸かけは、必ず電源スイッチを切ってください。ほかの原因になります。</p> <p>※ 上糸かけは、必ず押え上げをおおげして行ってください。押え上げがおおげしていないと糸が正しくかけられず、糸いり不良の原因になります。</p> <p>※ 上糸かけは、糸を後面に確実にかけるために、常に右手で糸こま側の糸を押えながら、左手で強めに引いてかけてください。</p> <p>※ 糸こまのセット方法は、「糸こまのセット」(10ページ)を参照してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 糸こまから糸を引き出し、糸室内部の下に巻きつけるようにつまみかけ、みぞにそって手前へ糸を引き出します。 ① 糸こま ② 糸室内部 2 糸室内部の下をまわし、左上に引きあげます。 ② 糸室内部 3 天びんの右からうしろへまわして手前へ引き、ばねを通過させて糸の内入れ、まっすぐ下におろします。 4 アーム糸室内に右からかけます。 5 針糸かけに左からかけます。 ※ 糸通しを使ったら針を通過します。 糸通しの使い方は、(14ページ)を参照してください。 	<ol style="list-style-type: none"> 2) 上糸を番号順に沿ってかける。 (説明書 P.13) (実行能力・記憶力・手指の巧緻機能) <ol style="list-style-type: none"> 1.できない 2.支援があればできる 3.できる

	<p>●糸通しの使い方</p> <p>△注意 糸通しを使うときは、必ず電源スイッチを切ってください。ほかの部品にはなりません。</p> <p>※針は11番～16番、糸は50番～90番が使用できます。</p> <p>1 上あかけのときに針上下移動ボタンで針をあげた状態のまま、糸を上げてください。 糸通しレバーを止まるまでください。 ① 糸通しレバー ② フック</p> <p>2 糸をガイドの左側からフックの下にまわします。 ③ ガイド</p> <p>3 糸はフックの下を通ります。 糸保持板の下からかけ、手前にとらしておきます。 ④ 糸保持板</p> <p>4 糸通しを静かにもどすと、糸の輪が引きあげられます。 ⑤ 糸の輪</p> <p>5 糸の輪を糸通しから外し、糸の輪を向こう側に引いて、針穴から糸の端を引き出します。</p>	<p>3) 針に糸を通す。 (説明書 P.14) (実行能力・記憶力・手指の巧緻機能)</p> <p>1.できない 2.支援があればできる 3.できる</p>
--	---	---

	<p>●下糸の引き上げ</p> <p>1 糸を上げをあげ、糸の端を指で押えておきます。</p> <p>2 電源スイッチを入れ、針上下移動ボタンを押して針を上げ、もう一度押して針を下げます。 上糸を軽く引くと下糸の輪が引き出されます。 ① 針上下移動ボタン</p> <p>3 上糸と下糸を押えの下にして、約10cm くらいにそろえて引き出します。</p>	<p>4) 下糸を引き上げる。 (説明書 P.15) (実行能力・記憶力・手指の巧緻機能)</p> <p>1.できない 2.支援があればできる 3.できる</p>
--	--	---

② タオルを半分に折り、端から1 cm 内側を直線縫いしていく。
(記憶力・実行力・手指の適切な保持力・危機察知能力)

	<p>“返しぬい”のボタンを押して返し縫をしてから“スタートボタン”を押して縫う。</p> <p>1.できない 2.支援があればできる 3.できる</p>
--	---

③ タオル1 cm内側を一周縫ったら“ストップボタン”を押し、止める。
(記憶力・実行力・手指の適切な保持力・危機察知能力)

1. できない
2. 支援があればできる
3. できる

④ “返しぬいボタン”を押しながら2 cmほど返し縫いをする。
(記憶力・実行力・手指の適切な保持力・危機察知能力)

1. できない
2. 支援があればできる
3. できる

⑤ 縫い終わったら針を上げた状態で“押しえ上げ”を手で上げ、タオルをミシンから外し、上下の糸をハサミで切る。(記憶力・実行力・手指の適切な保持力・危機察知能力)

1. できない
2. 支援があればできる
3. できる

⑥ 裏表が動かないようミシンで「×型」や「飾り縫い」を直線で縫い止める。
(図形の把握・実行力・手指の適切な保持力・危機察知能力)



※端は直線縫いでもジグザグ縫いでも行いやすい方を選択する。
ジグザグ縫いの方が、縫い幅が広い
ため縫い目が落ちにくい。
飾り部分は生地が分厚い為、針が折れないように注意必要。

1. できない
2. 支援があればできる
3. できる